

シルバーカー



アドリブプラス

〔取扱説明書〕 〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

⚠この製品は歩行に問題のない方に使用していただくものです。

(手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません。)

使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家(福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等)に相談し購入されることをお勧めします。

なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、十分ご理解の上、ご使用ください。

目次

警告事項・・・・・・・・・・	1	駐車用ストッパの操作方法・・・・・・・・	5
注意事項・・・・・・・・・・	1~2	キャスターの操作方法・・・・・・・・	5
各部の名称・・・・・・・・・・	3	ブレーキの調整方法・・・・・・・・	5
車体のひろげ方・折りたたみ方・・	4	傘止めバンドの使い方・・・・・・・・	6
車体の正しい使用方法・・・・・・・・	4	故障かなと思ったら・・・・・・・・	6
ハンドルの高さ調節・・・・・・・・	4	保証書・・・・・・・・・・	7
ハンドブレーキの操作方法・・・・・・・・	5	SGマーク・・・・・・・・・・	7

この説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、弊社サービス係、またはご購入販売店までお問い合わせください。

株式会社 島製作所

サービス係

☎06-6793-0991

**ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、
ご自身の体調の状態で使用できるかご判断ください。**

加齢等によって歩行機能が低下してこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。
室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。
また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 警告事項 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車、バス、電車内、エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨、雪、凍結等滑りやすいところでは使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ及び、夜間に使用される際は十分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがあります十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをおすすめします。
- 車体の組み立て及び調整は確実に行ってください。
- 使用される場合は高さ調節レバーに高さ調節レバーロックが確実にかかっていることを確認してください。
- 片手で押して使用しないでください。
- 車体を折りたたんだ状態で押して使用はしないでください。
- ハンドルの高さ調節部（左右）が固定されているか確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体のみに動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台としては使用しないでください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 弊社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

⚠ 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

※使用前

- 製品各部を点検し、特にハンドブレーキや駐車用ストッパの左右両輪の性能、車輪及びブレーキタイヤ押さえの摩耗、押したときのグラつきについては十分確認して使用してください。
- シルバーカーとしてご使用される際は、必ず固定用ロックが確実にかかっているか確認してください。開閉用ロックレバーを下ろしきると、固定用ロックがかかります。固定用ロックがかかっていないと車体が折りたたまれ大変危険です。

※使用中

- 用途以外には使用しないでください。
- 火気の近くでは使用しないでください。樹脂が変形し、性能を維持できなくなります。
- 砂、泥のあるところ、特に水たまりでは使用しないでください。また、放置しないでください。
- 最大使用者体重は 80kg です。ご使用される方の体重が 80kg 以下の方に限ります。必ずお守りください。
- バッグの載荷重は 8kg です。8kg を超える荷物は載せないでください。
- バッグ以外のところに荷物を載せないでください。
- ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
- 重い荷物はバッグの底部に収納してください。
- 乳幼児、子供、動物をバッグ内に乗せないでください。
- 車体の組み立て、折りたたみなどの操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
- ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたまま操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので過信しないでください。
- 駐管用ストoppaがかかった状態で車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、手をはさまないように注意してください。
- 車体から離れるときは、必ず駐管用ストoppaをかけてください。
- 階段や段差のあるところでは引き下ろしをしないでください。車輪やキャスターが破損し転倒する恐れがあります。

※使用後（保管・お手入れ）

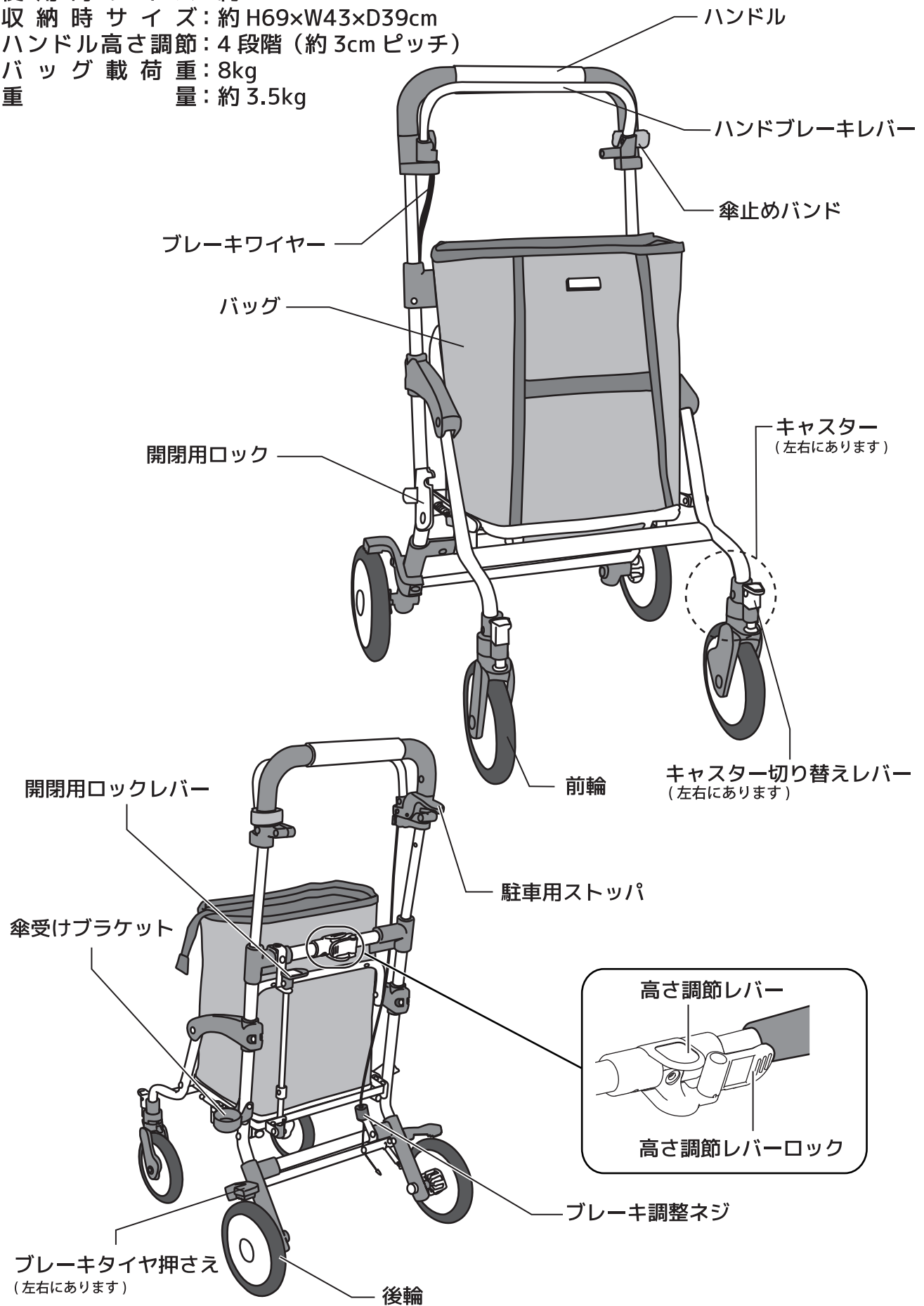
- 使用後は乾いた布で水分を取り、日陰で乾かしてください。
- バッグの汚れは、柔らかい布で拭いてください。
- 火の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因となります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭きとってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で車体・バッグを拭かないでください。
- フレームや車輪は砂や泥などの汚れを付けたまま放置せず、必ず落としてください。
- 長期間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、屋内で保管してください。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、バッグの変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に潤滑油を数滴注油してください。注油後、回転及び車体の組み立て・折りたたみ操作を 2～3 回くりかえしてください。
- 非常口や消火器、消火栓の前に放置をしないでください。
- 定期的に各部（車輪及びブレーキなど）の破損、緩み、摩耗などがいないかを保守・点検し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉋、ネジなどが緩んでいないかを確認してください。

※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

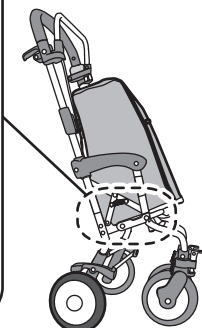
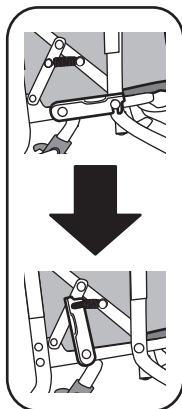
各部の名称

使用時サイズ: 約 H80~89×W43×D50cm
収納時サイズ: 約 H69×W43×D39cm
ハンドル高さ調節: 4段階 (約 3cm ピッチ)
バッグ 載荷重: 8kg
重 量: 約 3.5kg

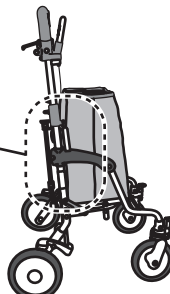
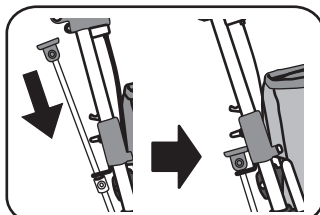


車体のひろげ方・折りたたみ方

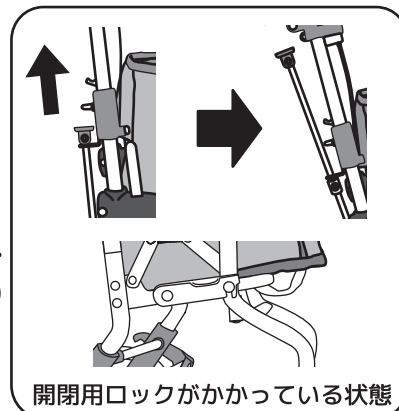
1. 車体右側にある開閉用ロックを外します。



2. ハンドルを押さえ、開閉用ロックレバーを下に降ろしてください。そうすれば車体の固定用ロックがかかります。開閉用ロックレバーを下に下げきった状態になっているか確認してください。



3. 折りたたむときはハンドルを持ち、開閉用ロックレバーを上引き上げ、車体右側にある開閉用ロックをかけてください。

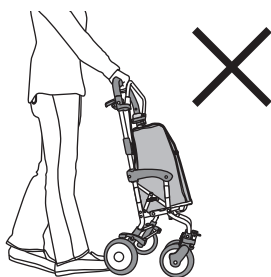
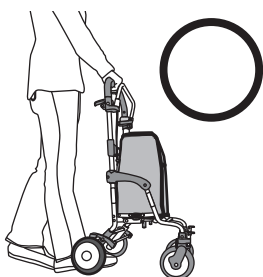


注 ●開閉用ロックレバーがきちんと下ろしきっていない場合、使用中に車体が折りたたまれてしまい、大変危険です。開閉用ロックレバーの操作は確実に行ってください。

車体の正しい使用方法

シルバーカーとしての使い方

●上記の車体のひろげ方1～2を行ってください。
※開閉用ロックレバーが下に下げきった状態になっていることを確認してください。



ショッピングカートとしての使い方

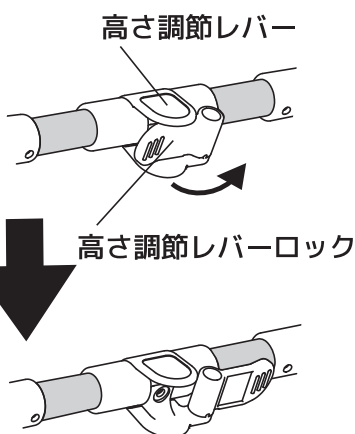
●上記の車体の折りたたみ方を行ってください。
※開閉用ロックが確実にかかっているか確認してください。



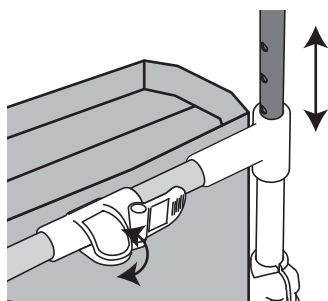
注 ●折りたたんだ状態では絶対に押して使用しないでください。転倒する恐れがあり大変危険です。

ハンドルの高さ調節

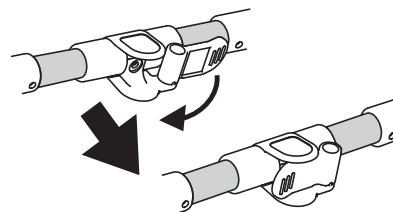
1. 高さ調節レバーロックを開き
高さ調節レバーのロックを解除してください。



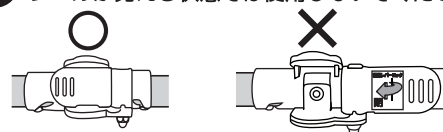
2. 高さ調節レバーをつまみながら、ハンドルをお好みの高さに合わせてください。カチッと音がしてロックがかかります。ハンドルが上下に動かないことを確認してください。



3. 高さ調節レバーロックを閉じ、高さ調節レバーをロックしてください。高さ調節レバーにしっかりロックがかかっていることを（つまめない状態になっているか）確認してください。

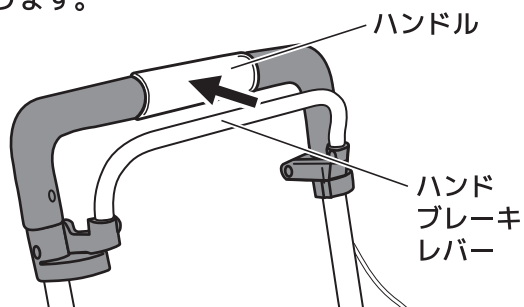


注 シールが見える状態では使用しないでください。



ハンドブレーキの操作方法

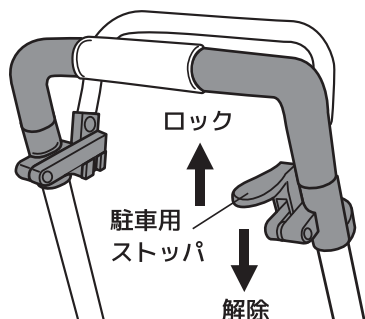
ハンドブレーキレバーを握れば、後輪にブレーキがかかります。



注

- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指をいれたまま操作しないでください。
- ブレーキは構造上、自動車のブレーキのようには効かないので過信しないでください。
- ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキが効きにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換をしてください。

駐車用ストッパの操作方法



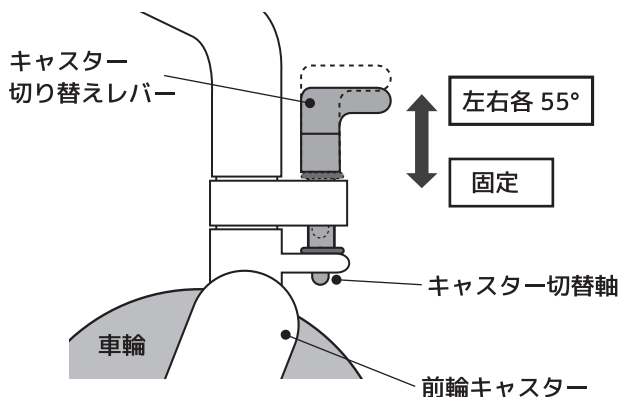
1. 駐車用ストッパを上にあげると後輪がロックされます。
2. 駐車用ストッパを下にさげると後輪のロックが解除されます。

注

- 駐車用ストッパのかかった状態（後輪がロックされた状態）で車体を押さないでください。

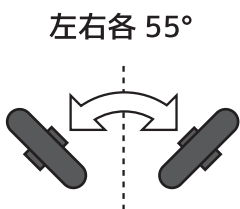
キャストの操作方法

キャスト切り替えレバーを上げると、曲がる方向に力を入れれば左右各 55°の角度で車輪が方向転換します。
キャスト切り替えレバーを下ろすと、キャストは直進方向に固定されます。



注

- キャスト切り替えレバーが左右同じ状態かを確認してください。



ブレーキの調整方法

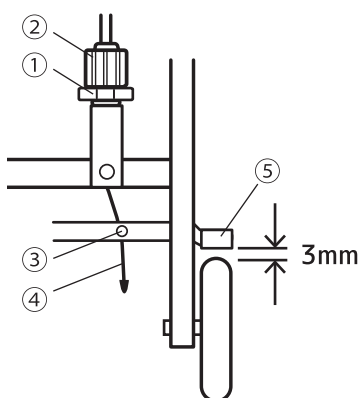
※車体の初期設定はブレーキの調整がされている状態です。

●ブレーキが効きにくいとき

①を固定し、②を反時計回りに回し調整してください。適度なブレーキの効き具合になったら、①と②の間隔を締めて固定してください。

●ブレーキが効き過ぎるとき

①をゆるめ、②を調整してください。調整後は①と②の間隔を締めてください。

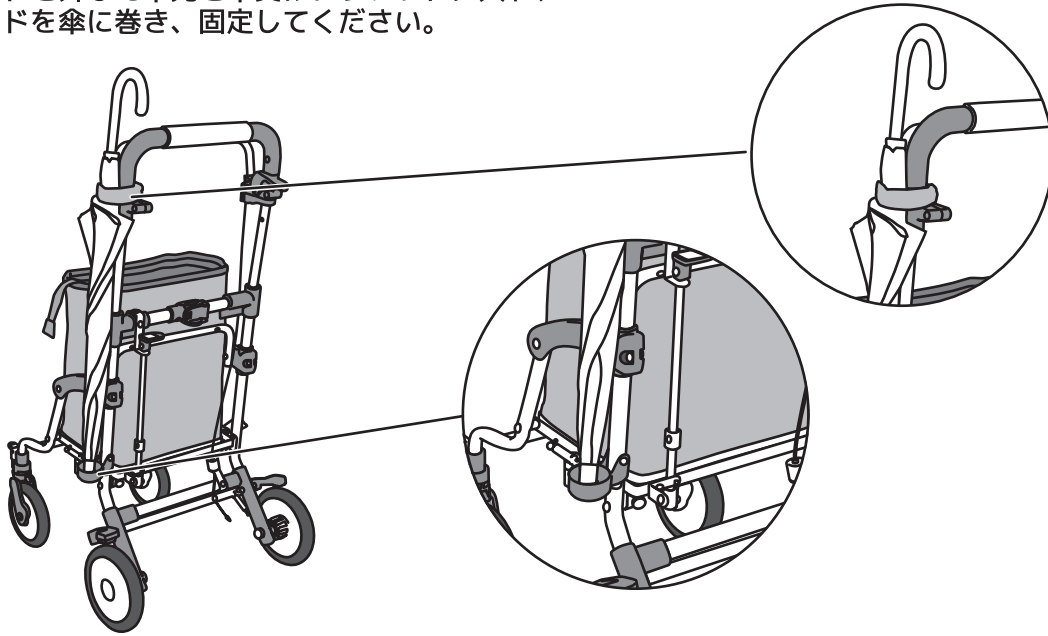


●ブレーキ調整ネジでは調整できなかった場合

②を最初の状態（一番下）に戻し、③を緩めてください。ワイヤー（④）を引っ張り、ブレーキタイヤ押さえ（⑤）と車輪のすき間が 3mm 位になるように調整し、③で締めてください。

傘止めバンドの使い方

傘止めバンドを外して傘先を傘受けブラケットに入れ、傘止めバンドを傘に巻き、固定してください。



故障かなと思ったら・・・

状 況	原 因	対処方法
ハンドルを押したときに ハンドルが下がってしまう	①ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない	①高さ調節ピンが、穴にきちんとセットされているか、確認してください
駐車用ストッパまたは ハンドブレーキが効かない	①バネの劣化 ②車輪の摩耗 ③ブレーキタイヤ押さえの摩耗 ④車輪の破損 ⑤連結部のサビ ⑥ブレーキワイヤーの折れ曲がり	①バネの交換 ②車輪の交換 ③ブレーキタイヤ押さえの交換 ④車輪の交換 ⑤潤滑油を注油する ⑥ブレーキワイヤーの交換
固定用ロックがかからない ※固定用ロックについては4ページ 車体のひろげ方・折りたたみ方参照	①開閉用ロックレバーの変形 ②車体の歪み	販売店に製品の点検、修理、パーツ交換を依頼してください
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②バネの劣化	①キャスター（前輪）を手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに潤滑油を差してください ②バネの交換
その他、車輪の交換や 車体の破損など		販売店に製品の点検、修理、パーツ交換を依頼してください

破損・異常が発生した場合、または発見した場合は、そのままご使用せずに、ご購入販売店に点検、修理、パーツの交換を依頼してください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので
ご了承ください。

MADE IN TAIWAN 29.04



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書